



PDA 即興型英語ディベート キーノートディベート（第16回）

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2023年7月17日（月・祝）13:00-14:30

会場：オンライン（Zoom）

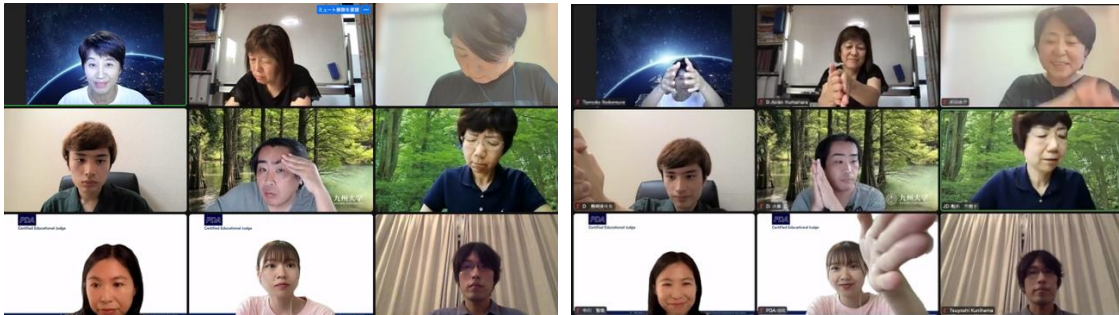
参加者：6名（ディベーター5名、ジャッジ1名）

ディベートの様子

今月のキーノートディベートの論題は、“Japanese government should increase the minimum wage.”（日本政府は最低賃金の引き上げを行うべきである。）でした。肯定側は、最低賃金が低いことが特に若者や貧困層を困窮させており、結婚や出産を諦め、結果的に少子化を加速させているという点、家庭の収入が増えることで経済全体もよりよくなるという点を説明しました。否定側は、論点を大企業と中小企業に分類し、AIの導入や自動化を推進する動きが強まり、特別な技術や能力を持っていない人などが解雇され、困窮してしまうという点について述べました。

ジャッジのコメントを待つ間、「最低賃金が上がり、収入が現状より増える場合、納める税額が上がるため、本当に手取りが増えるのか？」などについてお互いに確認を行いました。

ディベートが終わると、ジャッジから勝敗が述べられ、一人一人に個人コメントが述べられました。



ディベートの様子

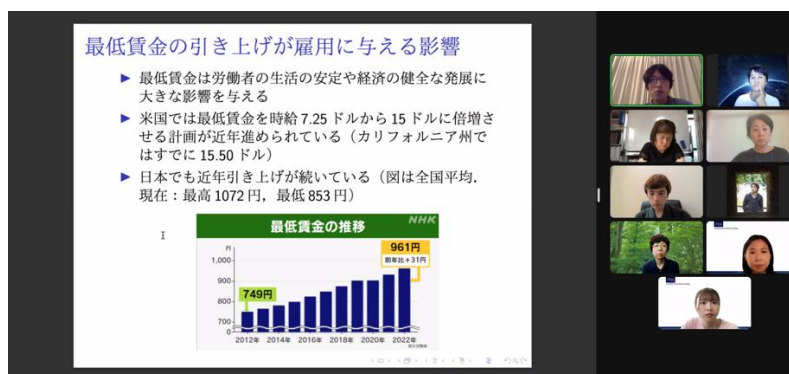
ディベート後のエアークラッシュ

キーノートスピーチでは、関西学院大学経済学部の國濱剛准教授にご登壇いただきました。キーノートレクチャーでは、そもそも経済学とはどういった学問なのか、今回の論題についてどう考えるかなどについてご説明いただきました。



キーノートスピーカー紹介

質疑応答では、キーノートレクチャーで示された複数の事例について、事例同士の違いは何か、考慮されたデータはどのようなものなのか、経済がよりまわるようになっても貧富の差が広がっているということは起こりうるのではないかなど今回のディベートに関連する質問に対し、具体的にご解説いただきました。



キーノートレクチャーの様子

参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・アメリカの具体例があって分かり易かったです。現実的には、経済状況 etc 色々な要素があって、上げるべきかどうかの判断は難しいと思いました。
- ・毎回毎回勉強になっています。この機会をどうも有難うございます。今後ともよろしくお願ひします。
- ・今日の論題も、自分には遠い話だったので、大変勉強になりました。先日、degrowthについて生徒と考えていたところなので、そこも、ちょっと気になりました。本日はありがとうございました。
- ・久しぶりのジャッジで緊張しました。ですが、とても良い経験です。今後ともよろしくお願ひいたします。
- ・論点のはっきりしたディベートだったためとてもやりやすかったです。また、レクチャーで最低賃金についての理解を深めることができました。